

科目名	小論文の書き方	科目分類	<input type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ)
			<input checked="" type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)
英文表記	Composition	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input checked="" type="checkbox"/> 4年
ふりがな	はしもと しほ	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	橋元志保	修得単位	2単位
授業のテーマ	大学生にふさわしい論理的な文章を書くための基本スキルを身につけ、公務員試験の論文試験にも対応できる時事問題の知識や表現力を涵養することができる。		
到達目標	この授業の単位を良好な成績で修得した場合、次のような知識・能力を修得することができます。 1. レポートや論文等を書くための、論理的な文章の基本スキルを身につけることができる。 2. 公務員試験(地方上級職・警察官他)の論文試験に取り組むことができるレベルの時事問題の知識や表現力等を身につけることができる。		
授業概要	本講義では、小論文やレポートの書き方を学びます。大学生活において、論理的な文章を「書く」という行為は欠かせないものです。定期試験における文章問題やレポート、そして卒業論文など、「テーマを決め、それに基づいて資料を集め、構成を考え、明確な文章で叙述する」ということを求められる機会は数多くあります。 まず初めに、テーマの設定や資料の検索の仕方、構成の重要性、叙述のスキルなどを学んでいきます。また、自分が書いた文章を、表記や文体、構成などの観点から、より良い文章に推敲していく方法も身につけていきましょう。段階的に「書く力」「表現する力」を伸ばしていきますが、時事問題の効果的な取り入れ方についても学び、最終的には公務員採用試験の論文試験をクリアできる力を養成することを、目指しています。		
授業計画			
第1回	学術論文と試験論文について		
第2回	公務員採用試験の論文試験をクリアする方法Ⅰ－課題型と課題文型試験－		
第3回	コンポジションの方法Ⅰ－テーマと構成について－		
第4回	コンポジションの方法Ⅱ－題材と論拠について－		
第5回	コンポジションの方法Ⅲ－引用と要約について－		
第6回	コンポジションの方法Ⅳ－叙述のスキル－		
第7回	小論文を書いてみようⅠ－テーマの伝え方－		
第8回	小論文を書いてみようⅡ－三段構成法とは－		
第9回	推敲の極意－プロフェッショナルの言葉－		
第10回	時事問題の学び方－環境問題について－		
第11回	時事問題の学び方－『不都合な真実』と環境問題－		
第12回	時事問題の学び方－子どもの貧困と虐待について－		
第13回	時事問題の学び方－格差社会について－		
第14回	時事問題の学び方－社会貢献とNPO－		
第15回	公務員採用試験の論文試験をクリアする方法Ⅱ－上達の極意とは－		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	1. 段階的に難易度を上げて、読む力・考える力・書く力を養成するので、テキストの予習や配布された資料の復習を怠らず、課題プリントも毎回必ずやりましょう(2時間程度)。 2. 時事問題を学ぶために、ニュースや新聞を読む習慣を身につけましょう(1時間程度)。		
履修条件	「文章の読み方」を履修し、単位を取得していることが望ましい。例年受講者が多いので、真面目で主体		

受講のルール	的な受講態度が求められます。
テキスト	速水博司『大学生のための文章表現入門』（蒼丘書林 2002年）
参考文献・資料	授業時に紹介します。吉岡友治『論文試験 頻出テーマのまとめ方』（実務教育出版 2014年）保坂弘司『レポート・小論文・卒論の書き方』（講談社学術文庫 1978年）他
成績評価の方法	【主体的な学びの姿勢（15%）、課題の提出（25%）、試験（60%）】の総合評価とします。 1. 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることが出来ません。 2. 出席確認時に不在だった場合、原則としてその回は欠席とします。 3. 講義中に無許可で退出した場合は、欠席とします。
オフィスアワー	水曜日 14:40～16:10 木曜日 14:30～16:10 ※これ以外の時間は、事前に予約してください。
成績評価基準	平成 28（2016）年度以降に入学した学生 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下） 平成 27（2015）年度以前に入学した学生 優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）
学生へのメッセージ	試験やレポート作成、就職活動等に必ず役に立ちます。また、公務員採用試験の論文対策も行いますので、志望者はぜひ受講してください。